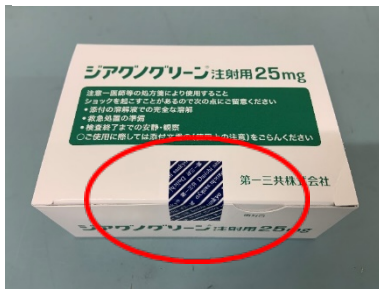


注射薬の空箱のみを返却しないで下さい

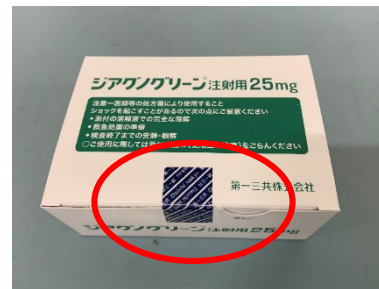
注射薬で、薬を使用した後の空箱が薬剤部に返却されてくることがあります。
薬剤部におきましても、返却薬の状態確認を行った上で、再使用を行っておりますが、実際に、開封されていることに気づかず、空箱のみを払い出した事例が起こっています。

薬剤によっては、ジアグノグリーン注射用 25mg のように、開封前後で外観変化の見分けがつきにくく（写真①、②）、中身がなくても重さの変化が分かりにくいものもあります。
注射薬の空箱のみを返却しないようお願い致します。

【写真①：外箱開封前】



【写真②：外箱開封後】



投与期間制限解除のお知らせ

- ◎トラディアンス配合錠 AP(一般名:エンパグリフロジン、リナグリプチン)＜糖尿病治療薬(選択的 SGLT2 阻害薬/選択的 DPP-4 阻害剤)＞※院外専用医薬品
- ◎ペオーバ錠 50mg(一般名:ピベグロン)＜過活動膀胱治療剤(選択的 β_3 アドレナリン受容体作動薬)＞
- ◎ページニオ錠 50mg、100mg、150mg(一般名:アベマシクリブ)＜抗悪性腫瘍剤(CDK4 及び 6 阻害剤)＞
- ◎メアナ配合錠 HD(一般名:アナグリプチン、メホルミン塩酸塩)＜糖尿病治療薬(選択的 DPP-4 阻害剤/ピグアナイド系薬剤)＞※院外専用医薬品
- ◎モビコール配合内用剤(一般名:マクロゴール 4000)＜慢性便秘症治療薬＞

薬価収載後 1 年が経過するため、2019 年 12 月 1 日から投薬制限が解除され長期投与可能となります。
(当院では、休日に伴うシステム上の都合により、12 月 3 日より長期投与開始となります。)

「マイトマイシン注用2mg、10mg」自主回収及びオーダー一時停止のお知らせ

抗悪性腫瘍剤「マイトマイシン注用 2mg、10mg」において、原薬の製造過程において無菌性の確保に影響しうる事実が判明したことから、当該ロットが自主回収となりました。現時点では交換品が無く、供給再開が 2021 年以降の見込みです。

本件により「マイトマイシン注用 10mg」は 10 月 22 日から、「マイトマイシン注用 2mg」においては 11 月 1 日から処方オーダーを一時停止しました。

当院において対象の製品はすでに使用済みですが、現在までに本件に起因すると考えられる有効性の欠如及び健康被害の報告はありません。

適正使用のお願い

◎ヨンデリス点滴静注用0.25mg、1mg(一般名:トラベクテジン)＜抗悪性腫瘍剤＞※臨時採用薬

本剤は起壊死性の抗癌剤です。

本剤の血管外漏出が疑われ、重度の組織障害に至った症例が年間5例程度報告されています。

また、この中にはデブリードマンによる処置や皮膚移植術を実施した症例も報告されています。

デブリードマンによる処置を行った症例の主な特徴は以下の通りです。

- 1、夜間に漏出が起こり、発見が遅れた
- 2、投与中～投与終了直後は、疼痛、腫脹、発赤等の症状が乏しかった
- 3、投与数日後～数週間後に遅延性の組織障害（壊死）に至った

本剤の血管外漏出につきましては、以下に留意し、対応をお願いします。

- 夜間は漏出に気づきにくいいため、注意する
- 血管外漏出が疑われた場合は、直ちに投与を中止する
- 皮膚症状がない場合でも、当該サイクルの同一ルートからの再投与はしない
- 症状は遅延性に発現する可能性があるため、漏出直後は無症状でも暫くは十分に漏出部の経過観察を行う。また、無症状でも処置（クーリング、ステロイド外用/局注等）を考慮する

アスベリン錠とアスペノンカプセルの販売名類似による 処方誤りの注意のお願い

◎アスベリン錠10(一般名:チペジンヒベンズ酸塩)＜鎮咳剤＞

◎アスペノンカプセル20(一般名:アプリンジン塩酸塩)＜不整脈治療剤＞※臨時採用薬

「アスベリン錠（鎮咳剤）」と「アスペノンカプセル（不整脈治療剤）」につきましては、販売名類似による処方誤りのヒヤリ・ハット事例の報告が年1件程度ありましたが、2018年以降22件（2019年8月5日時点）と急増しており、販売元から注意喚起情報が発出されました。

処方誤りは健康被害を起こすリスクがあります。「アスベリン錠」または「アスペノンカプセル」を処方される際には、販売名と効能・効果をご確認いただき、誤処方のないよう十分にご注意ください。

オーダ名変更のお知らせ

オーダ変更日	変更前		変更後
2019. 11. 1	バル 100mg, 1 mL	→	バル筋注 100mg 「AFP」

オーダ開始のお知らせ

オーダ開始日	名称
2019. 10. 8	(院) 0.2%ピオクタニン液 10mL (未承認新規医薬品等)
2019. 11. 1	イモバックスポリオ皮下注

包装変更・使用期限変更等のお知らせ

- ◎オブジーボ点滴静注 240mg(一般名:ニボルマブ(遺伝子組換え))<抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒト PD-1 モノクローナル抗体)>
使用期限:2年→3年
- ◎ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤 4g(一般名:タルク)<悪性胸水治療剤>
バイアルラベルの表示変更:「禁静注」→「胸膜腔内注入専用」
バイアルキャップシールの表示変更:「禁静注」→「胸膜内」
- ◎リトリン塩酸塩点滴静注液 50mg「あすか」(一般名:リトリン塩酸塩)<切迫流・早産治療剤>
貯法:5℃以下に保存→2~8℃

院内副作用報告

当院での使用患者において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
アブラキサン	発熱性好中球減少症
ゲムシタビン・アブラキサン	間質性肺炎
カナグル錠	尿 pH の低下
オムニパーク 140	アナフィラキシーショック

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

禁忌追加のお知らせ

- ◎レナデックス錠4mg(一般名:デキサメタゾン)<副腎皮質ホルモン製剤>
【禁忌】 デスマプレシン酢酸塩水和物(男性における夜間多尿による夜間頻尿)を投与中の患者
【併用禁忌】 デスマプレシン酢酸塩水和物:ミニリンメルト(男性における夜間多尿による夜間頻尿)

販売中止のお知らせ

- ◎アダラートカプセル 10mg(一般名:ニフェジピン)<高血圧・狭心症治療剤(Ca拮抗剤)>
製造販売中止:2020年6月頃 経過措置満了日:2021年3月末
- ◎ジスロマック SR 成人用ドライシロップ 2g(一般名:アジスロマイシン水和物)<15員環マクロライド系抗生物質製剤>
製造販売中止 経過措置満了日:2021年3月末
- ◎乳酸カルシウム水和物「ヨシダ」(一般名:乳酸カルシウム水和物)<カルシウム剤>
分包製品の販売中止:2020年3月末 ※バラ製品は販売継続
- ◎バルコーゼ顆粒 75%(一般名:カルメロースナトリウム)<便秘治療剤>
製造販売中止:2020年4月 経過措置満了日:2021年3月末
- ◎ピコスルファートナトリウム錠 2.5mg「イセイ」(一般名:乳酸カルシウム水和物)<緩下剤>
製造販売中止:2019年10月
- ◎ピソルボン細粒2%(一般名:ブロムヘキシン塩酸塩)<気道粘液溶解剤>
製造販売中止:2020年12月末 経過措置満了日:2021年3月末
- ◎ユベラ顆粒 20%(一般名:トコフェロール酢酸エステル)<ビタミンE剤>
製造販売中止:2020年4月 経過措置満了日:2021年3月末

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 367

★独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページでの医薬品リスク管理計画(RMP)関連資料の掲載について

本年4月から、PMDAのホームページにRMPの追加のリスク最小化活動として作成・提供される資料(以下「RMP資料」。)について掲載している。本稿では、RMP及びRMP資料の活用推進に向けた厚生労働省・PMDAにおける取組みについて紹介する。

★医薬品副作用被害救済制度の概要と制度への協力をお願いについて

医薬品副作用被害救済制度について、一般の方々に対する平成30年度調査における認知率が低いことから、本制度の周知のため、その概要について紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

◎オルミエント錠2mg、4mg(商品名:パリシチニブ)＜関節リウマチ治療薬(ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤)＞

【重大な副作用】 静脈血栓塞栓症：肺塞栓症及び深部静脈血栓症があらわれることがある。

※静脈血栓塞栓症関連症例 1例(うち死亡0例) (平成29年9月～令和元年6月)

◎タグリッソ錠40mg、80mg(商品名:オシメルチニブメシル酸塩)＜抗悪性腫瘍剤(チロシンキナーゼ阻害剤)＞

【重大な副作用】 中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、多形紅斑：中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

※中毒性表皮壊死融解症 0例(うち死亡0例) (平成28年5月～令和元年6月)

※皮膚粘膜眼症候群 2例(うち死亡0例) (平成28年5月～令和元年6月)

※多形紅斑関連症例 3例(うち死亡0例) (平成28年5月～令和元年6月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)
又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

長期臨床実習が始まります

2019年11月25日から2019年2月14日まで、薬学部5年生を対象とした長期臨床実習(男性1名・女性1名)を行います。

薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の取得に精力的に取り組んでいます。病棟業務・服薬指導等で病棟を訪れた際にはよろしくお願ひします。